

〈3〉女性の生き方について

結果のポイント

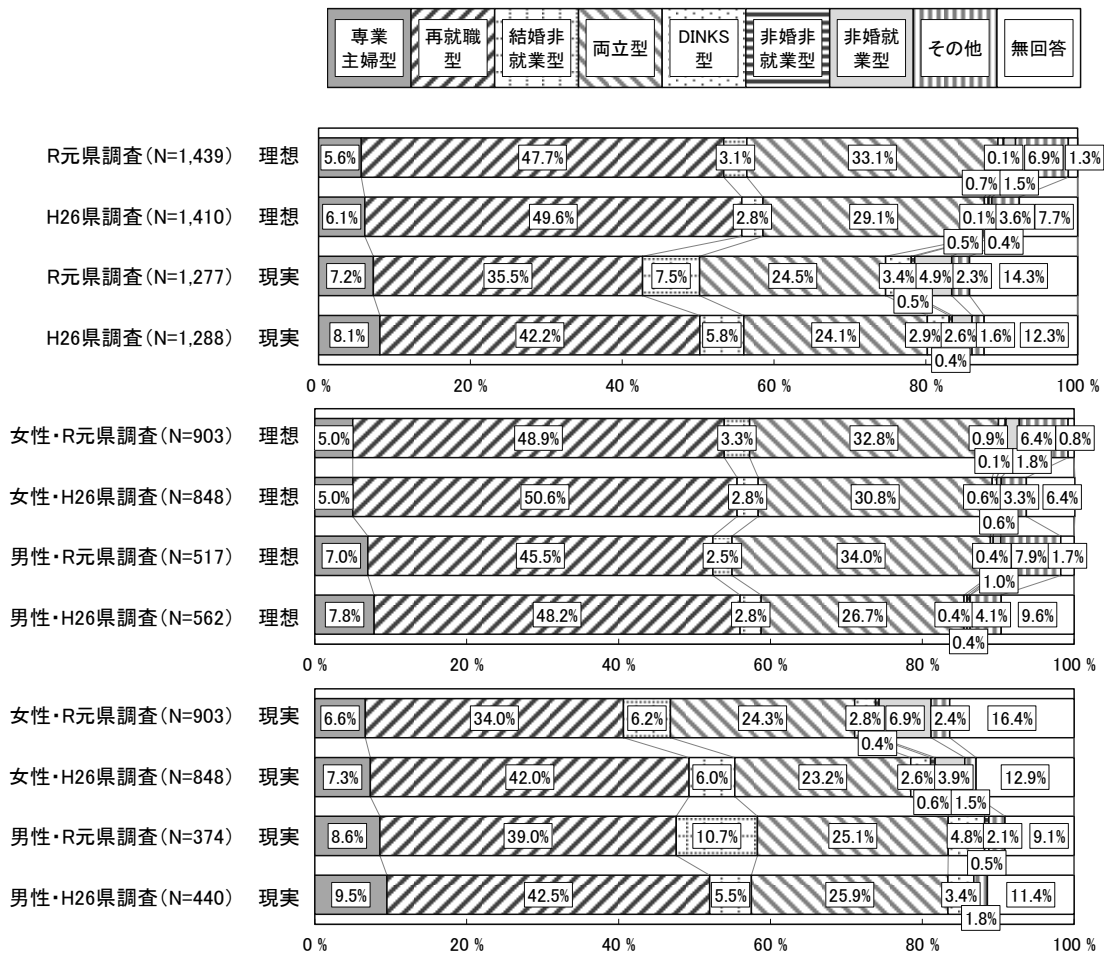
- 「女性の生き方」の理想については、男女とも「再就職型」（出産前後に退職し、子育て後に再び仕事を持つ）が1位だが、前回調査よりも減少。2位の「両立型」（結婚し子どもを持つが、仕事を続ける）は前回調査よりも増加

女性の生き方の理想についての考え方は、男女とも「再就職型」（結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ）の割合が最も高く（全体 47.7%、女性 48.9%、男性 45.5%）、次いで「両立型」（結婚し子どもを持つが、仕事を続ける）（全体 33.1%、女性 32.8%、男性 34.0%）となっている。

前回調査と比べると、1位が「再就職型」で2位が「両立型」であることには変わりはないが、「再就職型」の割合は1.9ポイント減少（前回 49.6%）し、「両立型」の割合は4.0ポイント増加（前回 29.1%）した。

また、考え方に男女の大きな差はみられない。

図表 女性の生き方の理想・現実



専業主婦型：結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
 再就職型：結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ
 結婚非就業型：結婚し子どもを持つが、仕事を持たない、または、結婚し子どもを持たず、仕事を持たない
 両立型：結婚し子どもを持つが、仕事を続ける
 DINKS型：結婚し子どもを持たず、仕事を続ける
 非婚非就業型：結婚せず、仕事を持たない
 非婚就業型：結婚せず、仕事を続ける
 その他：その他